

## 事業名：親と子の絵本事業

子ども家庭課 児童母子係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	01 地域子育て支援の充実								
開始年度	平成20年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

4か月未満の乳児及びその保護者

手段（事務事業の内容、やり方）

「こんにちは赤ちゃん事業」との連携により、対象家庭を訪問し、絵本を配布する。  
また、4か月健康診査において、情報図書館の協力により、絵本の読み聞かせや絵本紹介を行う。  
主任児童委員を中心に対象家庭を訪問し、絵本を配布する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

絵本の読み聞かせにより、親子のコミュニケーションの時間を作ることで、豊かな情感の交流やゆとりを親子にもたらすとともに、子どもの読書を考える契機とする。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	4ヶ月未満の乳児及びその保護者数	人	761	744	748	744
対象指標2						
活動指標1	訪問世帯数	世帯	746	728	739	744
活動指標2						
成果指標1	訪問割合	%	98	98	99	100
成果指標2						
事業費(A)		千円	961	934	920	966
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	1,764	1,736	1,701	1,748

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	「こんにちは赤ちゃん事業」との連携により対象家庭を訪問し、絵本を配布する。	絵本等の購入費 920千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
市域全体で子育て支援の機運を高めるため、市内企業等の協賛を得ながら事業を開始することとなった。
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 親と子のふれあいを深める手段として、絵本の配布を通じてそのきっかけづくりを行うことは、子育て支援の手法として意義がある。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 親と子のふれあいを深める手段として、絵本を通じてコミュニケーションが図れ、子育て支援の一助に繋がる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 絵本の提供により、親子のコミュニケーション、豊かな情感交流等の一助となった。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 絵本の読み聞かせを通じて親子の間でゆったりとしたふれあいが育まれることは、子育て支援の一助として重要であり、当事業の浸透によりその効果の向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 こんにちは赤ちゃん事業と連動して実施することにより、コストの削減を図っている。